

c) 子どもを世話していた家族員に関する情報
 このページでは、死亡した子どもの世話をしていた家族に関する情報を記入する(子どもの世話を主にしていた者と、その次に主にしていた者について)。虐待・ネグレクトが多少でも

疑われる場合には記入する必要がある。「虐待・ネグレクト歴」(5)、「家族内で他に死亡した子ども」(7)といった情報は、各組織の担当者にとって特に共有が必要なものであり、記入が望まれる。

The screenshot shows a window titled "ChildDeathReview" with a "File" menu. The main content area is titled "子どもを世話していた家族員に関する情報" (Information about family members who cared for the child). It is divided into two sections: "2-1. 子どもの世話を主にしていた家族員" (Family member who primarily cared for the child) and "2-2. 上の人物に次いで子どもの世話を主にしていた家族" (Family member who primarily cared for the child next to the person above). Each section contains seven numbered items (1-7) with radio button options and text input fields. Item 1 lists caregiver roles: 実の親 (checked), 養理の親・里親, 祖父母, 兄弟・姉妹, and その他. Item 2 is gender (男 checked, 女). Item 3 is age in years. Item 4 is highest education level: 高校卒業か未満, 高等学校, 大学, 大学院, 不明. Item 5 is history of abuse/neglect (無 checked, 有, 不明). Item 6 is history of other non-crime offenses (無 checked, 有, 不明). Item 7 is whether other children in the family died (無 checked, 有, 理由: [input field], 不明). At the bottom right, there are two buttons: "戻る" (Back) and "次へ" (Next).

d) 死亡の原因となった事象が起きた時の状況
このページと次のページで、死亡の原因とな
った（と考えられる）事象とその時の状況、死
亡時の取り扱いについて記入する。

まず死亡の年月日と場所、その時の子どもの

状況、救急隊の関与を記入する。死亡の場に監
督者が「有（いた）」と（8）で記入すると、自
動的に下の記入項目が明示され、監督者が誰で
あったかを記入することができる。

ChildDeathReview

File

死亡の原因となった事象が起きた時の状況

(1) 事象が起きた年月日: 死亡日と同じ 死亡日の前 2003 年 11 月 11 日

(2) 事象が起きた住所: _____

(3) 事象が起きた場所:

自宅 親戚宅 友人宅 幼稚園・保育所 道路・歩道 _____

その他 _____

(4) 事象が起きた時の子どもの状況:

眠っていた 遊んでいた 食事をしていて 入浴していた 車上にいた

その他 _____ 不明

(5) この事象によって死亡した子どもが他にいるか: 無 有 不明

(6) 救急隊関与の有無: 無 有 該当せず 不明

(7) 救急隊到着前の心肺蘇生術の実施: 無 有 該当せず 不明

(8) 事象が起きた時に監督者がいたか: 無 有 不明

(8-1) 主な監督者は: 父親 母親 祖父 祖母 年長のきょうだい・友人

その他 _____

(8-2) 主な監督者が、親に入力済みの「子どもの世話を主に行っていた人物」ではない場合:
あなたが入力した「子どもの世話を主に行っていた人物」
世話を主に行っていた人(子どもの親の親)
次に世話を主に行っていた人(子どもの親の親)

年齢: _____ 性別: 男 女

死亡した子どもとの関係: _____ 非行歴・犯罪歴: 無 有 _____

(9-1) 主な監督者が子どもを最後に見てから事象が発生するまでの時間: _____ 時間 _____ 分

監督者が寝ている前で起きた

(9) 事象が起きた時に、他に子ども(同年齢または年少)はいたか: 無 有 _____ 人 不明

戻る 次へ

e) 本件の調査・死亡証明に関する情報

子どもの死亡の場合、十分な検証がなされずに「不詳の死」「不慮による不詳の死」等と死亡証明書に記入される場合が少なくない現実に鑑み、死亡した子どもについて、どの程度の調査が行われたかを記録し、長期的に分析する必要がある。このページの(1)～(6)はそのための項目である。

そして、(7)で「自然死」をクリックしてから「次へ」を押すと、「死因別の詳細情報 J. 疾病による死亡」にリンクする。また、(7)で「事故死」「殺人」「自殺」「未決定」「不詳」をクリックした後、(8)の原因のうちのひとつをクリックすると、「死因別の詳細情報」のAからIのいずれかのページにリンクする。

The screenshot shows a window titled "ChildDeathReview" with a "File" menu. The main content area is titled "本件の調査・死亡証明に関する情報" (Information regarding the investigation and death certificate of this case). It contains several numbered sections with input fields and radio buttons:

- (1) 死亡確認した者(医者の名前など): [Text input field]
- (2) 現場検証を実施したすべての機関: [Text input field]
- (3) 解剖の有無: 無 有 実施施設: [Text input field] 不明
- (4) X線・CT撮影の有無: 無 有 実施施設: [Text input field] 不明
- (5) 毒物スクリーニング実施の有無: 無 有 実施施設: [Text input field] 不明
- (6) 調査により虐待・ネグレクトの可能性を示唆する証拠が得られたか: 無 有 [Text input field] 不明
- (7) 死亡診断書に記載された主たる死因: 自然死 事故死 殺人 自殺 未決定 不詳
具体的な死因名: [Text input field]
- (8) 死亡診断書に記載された、死亡をもたらした原因(不慮の事象、意図的虐待を問わず、死亡をもたらした原因として):
 - (交通事故:歩行・自転車乗車中(駐車場内での事象も含む)) 交通事故:自動車・列車等に死亡児が乗車中
 - 火災、火傷、または感電死 溺死 窒息死または絞扼死 武器による死(拳など身体を使った暴力の場合も)
 - 動物による咬傷または攻撃 転落、転倒、衝突 中毒死(火災による一酸化炭素中毒は中毒死ではなく、上の「火災」に含む)
 - ネグレクト、育児放棄による死(車上遺棄はここに含む) 不詳の内因死 不詳の外因死 未確認
 - その他の内因死: [Text input field]
 - その他の外因死: [Text input field]

At the bottom right, there are two buttons: "戻る" (Back) and "次へ" (Next).

f) 死因別の詳細情報：A. 交通に関する死亡
 このページでは、子どもが交通に関する環境
 下で死亡した場合の詳細情報を記入する。すな
 わち、関与した乗り物、事象の原因、子どもを

傷害・死亡から保護する手段（チャイルドシー
 ト、ヘルメット等）が用いられていたか等であ
 る。

The screenshot shows a window titled "ChildDeath Review" with a menu bar containing "File". The main content area is titled "死因別の詳細情報" (Detailed Information by Cause of Death) and contains the following sections:

- A. 交通に関する死亡** (Death related to traffic)
- (1) 関与した乗り物の数: 0
- (2) 子どもが乗っていた乗り物と、死亡に関与した主要な乗り物を以下のリストから選ぶ:
 - 子どもが乗っていた乗り物: 乗り物なし
 - その他の主要な乗り物: 乗り物なし
- (3) 死亡時に子どもがいた場所が自家用自動車の場合:
 - 前部座席 後部座席 荷台 その他
- (4) 事象が起きた原因(あてはまるものすべてを選ぶ):
 - スピードの出し過ぎ 無謀運転 一時停止/信号無視 天候不良 疲労・居眠り 不明
- (5) 衝突の種類:
 - 子どもは車に乗っていない状態で衝突された 子どもは車に乗っていて他の車に衝突された
 - 子どもが乗っていた車が他の車に衝突した 子どもが乗っていた車が人または物に衝突した
- (6) 事象が起きた場所:
 - 市街道路 私道 住宅地街路 駐車場 田舎道
 - オフロード 高速道路 踏切/線路 交差点 歩道
 - 路肩 不明 その他
- (7) 事象に関与した運転者(運転者がいる場合):
 - 運転者の年齢: 歳
 - 事象の発生の責任がこの運転者にあるかどうか: 有効な免許所持 無免許 免許停止 アルコール/薬物障害 不明
- (8) 子どもに対する保護手段がなされていたかどうか:
 - なし エアバッグ シートベルト チャイルドシート ブースターシート ヘルメット その他 不明

At the bottom right, there are two buttons: "戻る" (Back) and "次へ" (Next).

g) 死因別の詳細情報 : B. 火災、火傷または感電死

このページでは、火または熱、電気による死亡の詳細について記入する。

昨今、ライターによって子どもが起こす火災が問題になっており、child resistance (子ども

が着火できないデザイン)のライターを義務づける動きも出ている。また、給湯温度の設定ミスによる子どもの熱傷も少なからず報告されている。こうした情報を入手し、記録することが望まれる。

The screenshot shows a window titled "ChildDeath Review" with a "File" menu. The main content area is titled "死因別の詳細情報" (Detailed information by cause of death). Under the heading "B. 火災、火傷または感電死" (Fire, Burns, or Electrocution), there are several numbered sections for data entry:

- (1) 着火火源、熱源、または感電源: Radio buttons for Match, Lighter, Cigarette, Heating equipment, Bath, Hot water, and Other.
- (2) 事象の種類: Radio buttons for Fire, Burns, Electrocution, and Other.
- (3) 火災によって子どもが死亡した場合、原因は: Radio buttons for Burns, Inhalation of smoke, Other, and Unknown.
- (4) 火災した建物の種類: Radio buttons for Single-family home, Multi-family home, Other, and Unknown.
- (5) 人的火災(放火)であったか: Radio buttons for Yes, No, and Unknown.
- (6) 消防隊の到着時間: 通報後 [] 分 (Arrival time of fire department: [] minutes after reporting).
- (7) 障害物により無事に脱出できなかった: Radio buttons for Yes, No, and Unknown.
- (8) 消火器の有無: Radio buttons for Yes, No, and Unknown.
- (9) スプリンクラー装置の有無: Radio buttons for Yes, No, and Unknown.
- (10) 煙探知器の有無: Radio buttons for Yes, Yes but not working, No, and Unknown.
- (11) 熱湯・湯気による熱傷の場合、給湯器の設定温度は: [] 度 (In case of scalding, set temperature of water heater: [] degrees).
- (12) 感電死の場合の原因: Radio buttons for Power line, Wet floor, Child's toy/electrical plug, Child's bath, and Unknown.

At the bottom right, there are two buttons: "戻る" (Back) and "次へ" (Next).

h) 死因別の詳細情報：C. 溺死

このページでは、溺死（沈められた場合も含む）の詳細情報を記入する。溺死は、家庭の風呂、学校のプールをはじめ、河川や海等、広範囲で起こり得ることから、それらの状況情報を

的確に記録することが重要である。また、プール等の場合には、子どもを水から遠ざける手段が講じられていたか、監視者はいたか、救助・救命装置はあったか等の情報を記録することが、予防においては重要である。

The screenshot shows a window titled "Child Death Review" with a menu bar containing "File". The main content area is titled "死因別の詳細情報" (Detailed information by cause of death) and is currently displaying "C. 溺死" (Drowning). The form contains the following sections and questions:

- C. 溺死**
- (1) 溺死の直前に子どもがいた場所(あてはまるものすべて):
 - 水中 川・池・湖・用水路の水面 海岸 岩壁 浴室
 - プールサイド その他 不明
- (2) 溺死前の行動:
 - 水の近くで遊んでいた ボート/船に乗っていた 泳いでいた 入浴をしていた
 - 釣りをしていた その他 不明
- (3) 子どもは力づくで水に沈められたか: いいえ はい 不明
- (4) 溺死の場所:
 - 開放水面(海・川・池・湖・用水路) プール 浴槽 バック
 - 井戸/貯水槽など トイレ その他 不明
- (5) 開放水面の場合の死亡の場所:
 - 湖 海 川 用水路 その他 不明
- (6) 原因となった環境的要因:
 - 天候 急斜面 温度 流れ 潮流 その他 不明
- (7) 救命具の使用: いいえ はい 使用していた救命具 不明
- (8) 水に近づくことを予防するための手段はあったか:
 - なし 警報器 フェンス ガバー/ふた その他 不明
- (9) 予防するための手段があった場合、なりその手段によって死亡を予防できなかったか:
 - 見えなかった/あいていた 発がなかった/壊れていた 警報が作動しなかった その他 不明
- (10) 子どもは泳げたか: はい いいえ 不明
- (11) 救助の試みはなされたか: はい 誰 いいえ 不明
- (12) 救助者も溺死した: はい いいえ 不明
- (13) 監視者、監督者がいたかどうか: いた いなかった 不明
- (14) 適切な救助・救命装置があったかどうか: あった なかった 不明

At the bottom right of the window, there are two buttons: "戻る" (Back) and "次へ" (Next).

i) 死因別の詳細情報：D. 窒息または絞扼死
 このページでは、窒息あるいは絞扼による死亡に関する詳細情報を記入する。子どもの窒息は、SIDS や他殺と鑑別することが容易ではなく、死亡前と死亡時の状況を詳細に記載することがきわめて重要である。また、子どもが食べ物や物を誤嚥して窒息したことが明らかな場

合、その物のサイズ、特徴等を記録しておくことが求められる。

このページに記入すると、「その他の状況 A. 子どもが就寝中または就寝環境中に死亡した場合」にリンクし、就寝時の姿勢などについての情報記載を行うことになる。

ChildDeathReview

File

死因別の詳細情報

D. 窒息または絞扼死

(1) 窒息死の原因となった行為(ひとつだけ選択する):

寝具類または寝具製品による

口から何かを摂取して

食べ物 おもちゃ

その他 不明

絞扼(以下、あてはまるものすべてを選択)

空服・ベスト ロープ・ひも類 電気コード 紐・行灯 幼児用椅子 カーシート 遊具

自動車の窓ガラス その他 不明

ものに覆われた: ビニール袋 土砂 その他 不明

閉じ込められた: 冷蔵庫・冷凍庫 各種の箱・かご等 その他 不明

ガスによる 気体の種類(名前):

その他

不明

(2) 1歳未満のSIDSと不審死を区別するため:

(a) 子どもは受動喫煙にさらされていたか: いいえ はい 不明

(b) 上の質問が「はい」の場合、受動喫煙の種類: タバコ ひんぱん 不明

(c) 子どもがいた環境は、暑すぎたか: いいえ はい 不明

(d) 上の質問が「はい」の場合: 室温が高すぎた 温度: 度 寝具が多すぎた 衣類が多すぎた

(e) なんらかの発作の既往があった: いいえ はい 不明

(f) 上の質問が「はい」の場合、発作の種類の有無: いいえ はい 不明

(g) 無呼吸の既往があった: いいえ はい 不明

(h) 上の質問が「はい」の場合、無呼吸の原因の有無: 無 有 不明

(i) その他の既往:

戻る 次へ

j) 死因別の詳細情報：E. 武器または体の部分
による

このページでは、殺人または虐待の場合の原
因を記入する。

ChildDeathReview

File

死因別の詳細情報

E. 武器または体の部分による

(1)武器の種類:

銃器 鋭利な器具 鈍器

腐死物 人の体 その他 不明

(2)人の体であった場合、死を引き起こした行為は

たたく 落とす 踏む 絞す 絞む ゆとぶ 投げつける

投げつける 溺れさせる 火傷させる その他 不明

戻る 次へ

k) 死因別の詳細情報：F. 動物による咬傷または攻撃

このページでは、動物に関連して起こった死亡について詳細情報を記入する。

ChildDeath Review

File

死因別の詳細情報

F. 動物による咬傷または攻撃

(1) 動物の種類:

飼い犬 飼い猫 野良犬 野良猫 蛇

野生の哺乳類 その他 不明

(2) 事案が発生した時の動物の状況:

鎖につながれていた 鎖につながれていなかった 檻に入っていた 檻に入っていなかった

その他 不明

(3) 子どもが動物を刺したかどうか: いいえ はい 不明

戻る 次へ

1) 死因別の詳細情報：G. 転落、または物の落下、物との衝突

このページでは、子どもが転落した場合、または子どもの上に物が落下して起きた死亡について詳細情報を記入する。子どもが高い場所

から転落した場合、どのようにしてその場所まで子どもが登ったのかを記録しておくことが、予防にとっては重要である。また、子どもが落ちた場所の表面素材の情報も重要である。

The screenshot shows a window titled "ChildDeathReview" with a "File" menu. The main content area is titled "死因別の詳細情報" (Detailed information by cause of death). Under the heading "G. 転落、または物の落下、物との衝突" (G. Fall, or object falling, or collision with object), there are several sections for data entry:

- 子どもが落ちる／ものが落下:** Radio buttons for "子どもが転落した" (Child fell) and "物が落下、物と衝突した" (Object fell, collision with object).
- (1) 転落した高さ:** A numeric input field set to "0" and a unit dropdown menu set to "センチメートル" (Centimeters). A note in parentheses says "(ものが落下した場合は、ものが置いてあった高さ)" (In the case of an object falling, the height it was placed at).
- (2) 子どもがどこから転落したか:** Radio buttons for "開いている窓" (Open window), "家具" (Furniture), "ベッド" (Bed), "バルコニー" (Balcony), "屋根" (Roof), "階段" (Stairs), "遊具" (Play equipment), "木" (Wood), "その他" (Other) with a text input field, and "不明" (Unknown).
- (3) 転落した場合に、転落を防ぐ仕組みはあったか:** Radio buttons for "なかった" (None) and "あった:" (Was there). Under "あった:" are radio buttons for "コンクリート製網" (Concrete mesh), "鉄戸" (Iron door), "網" (Net), "その他" (Other) with a text input field, and "不明" (Unknown).
- (4) 子どもが落下した面の素材:** Radio buttons for "コンクリート/セメント" (Concrete/Cement), "草" (Grass), "砂利" (Gravel), "土" (Soil), "木などの硬い床" (Hard floor like wood), "畳" (Mat), "カーペットが敷かれた床" (Carpeted floor), "その他" (Other) with a text input field, and "不明" (Unknown).
- (5) 物の落下、物との衝突の場合、原因となった物:** Radio buttons for "電気器具" (Electrical appliance), "異様な名前:" (Unusual name) with a text input field, "家具" (Furniture), "遊具" (Play equipment), "その他" (Other) with a text input field, and "不明" (Unknown).
- (6) 落下・衝突の場合に、子どもがした事:** Radio buttons for "物にぶつかる" (Hit by object), "物をひきおろす" (Dropped object), "物にかかると" (Caught by object), "物から落ちる" (Fell from object), "その他" (Other) with a text input field, and "不明" (Unknown).

At the bottom right of the window, there are two buttons: "戻る" (Back) and "次へ" (Next).

m) 死因別の詳細情報：H. 中毒

このページでは、薬、毒物、家庭内で用いる洗剤・薬剤等によって起こった中毒の詳細情報

を記入する。火災によって起きた一酸化炭素中毒による死亡もここに記入する。

The screenshot shows a window titled "ChildDeath Review" with a "File" menu. The main content area is titled "死因別の詳細情報" (Detailed information by cause of death) and contains the following sections:

- H. 中毒**
- (1) 関与した毒の種類:**
 - 処方薬 [] 市販されている薬品・サプリメント・化粧品など []
 - 家庭用洗剤・溶剤など [] 一酸化炭素 その他の物質 [] 不明
- (2) 毒物が保管されていた場所:**
 - 扉のない棚 扉はあるが鍵のない棚 鍵のある棚 その他 [] 不明
- (3) 毒物はもとの容器に入っていたか:**
 - もとの容器に入っていた 別の容器に移されていた [] 不明
- (4) 容器には、子どもに開けにくい形のふたがついていたか:**
 - ついていた ついていなかった 不明
- (5) 日本中毒センターに電話をかけたか:**
 - かけた 誰が [] かけなかった 不明
- (6) 一酸化炭素中毒の場合、一酸化炭素検出器があったか:**
 - あった なかった 不明

At the bottom right, there are two buttons: "戻る" (Back) and "次へ" (Next).

n) 死因別の詳細情報：I. 環境要因による死亡
このページでは、低温・高温・水中等の環境
に曝露した結果の死亡について詳細を記入す

る。高温、低温の場合には、外気温と曝露時間
の記入が重要である。

The screenshot shows a window titled "ChildDeathReview" with a "File" menu. The main content area is titled "死因別の詳細情報" (Detailed information by cause of death). Under the heading "I. 環境要因による死亡" (Death due to environmental factors), there are four sections:

- (1) 事象が起きたときの状況: (1) Situation when the incident occurred:
 - 道楽 (Leisure)
 - 車の中に放置 (Left in car)
 - 室内に放置 (Left indoors)
 - 水の中に浸漬 (Submerged in water)
 - 戸外で行方不明 (Missing outdoors)
 - その他 (Other): [text input box]
 - 不明 (Unknown)
- (2) 死亡をもたらした環境要因: (2) Environmental factors that led to death:
 - 高体温 (High body temperature)
 - 低体温 (Low body temperature)
 - 不明 (Unknown)
- 事象が起きた時の外気温: [text input box] 度 不明 (Temperature at the time of the incident: [] degrees unknown)
- (3) 当該環境に曝露されていた時間: [text input box] 分 不明 (Time exposed to the environment: [] minutes unknown)
- (4) 子どもの着衣は適切であったか: いいえ (No) はい (Yes) 不明 (Unknown)

At the bottom right, there are two buttons: "戻る" (Back) and "次へ" (Next).

o) 死因別の詳細情報：J. 疾病による死亡
このページは、「自然死」の場合の原因疾患を記入するためのものである。自然死の場合で

あっても、子ども、または子どもの家族が指導された治療法・管理方法を怠っていた可能性もあるので、その情報を記入する。

ChildDeathReview

File

死因別の詳細情報

J. 疾病による死亡

(1) 子どもに当該疾病があった期間:

誕生以来

年 [] 月 [] 日 [] ~ 年 [] 月 [] 日 []

不明

(2) 当該疾病の結果として死亡が疑われると予測されていた: はい いいえ 不明

(3) 子どもは当該疾病に対して治療・管理を受けていた: はい いいえ 不明

(4) 子ども、または子どもの家族は処方された治療法・管理方法を守っていたか: はい いいえ 不明

「いいえ」の場合、守らなかった理由: []

(5) 処方された治療法・管理方法は当該疾病に対応していたか: はい いいえ 不明

「いいえ」の場合、治療法・管理方法の問題点: []

(6) 当該症状は、なんらかの疾病の集団発生と関連していたか: はい いいえ 不明

戻る 次へ

p) その他の状況 A. 子どもが就寝中または就寝環境中に死亡した場合

窒息、SIDS だけでなく、仮に他の「自然死」と分類された死亡の場合でも、子どもが就寝中または就寝環境下にあった場合には、このペー

ジを記入する。特に、子どもが眠っていた環境(1)、入眠時(3)と発見時の姿勢(4)、発見時の状況の情報(5)は死因鑑別と予防にとって重要である。

The screenshot shows a window titled "ChildDeathReview" with a menu bar containing "File". The main content area is titled "その他の状況A" and contains the following text and form elements:

A 子どもが就寝中または就寝環境中に死亡した場合

(1) 事象が発生した場所:

ベビーベッド内 畳または床に敷かれた子ども用布団 畳または床に敷かれた大人用布団 ソファ イス

その他 不明

(2) 上の場所は、子どもの通常の寝る場所であったか: はい いいえ 本来の寝る場所 不明

(3) 子どもが眠ったときの姿勢: 仰向け うつ伏せ 横向き 不明

(4) 子どもが発見されたときの姿勢: 仰向け うつ伏せ 横向き 不明

(5) 子どもが発見されたときの状況:

顔及び体をふさがれていない状態 何かの下にいる状態(例: 掛け布団、タオルケット、他の人や動物など。)

何かに巻き込まれた状態 何かから落ちた、または転がった状態

その他 不明

(6) 子どもは授乳中に眠ったかどうか: はい いいえ 不明

(7) 子どもは人または動物と同じ平面で眠っていたか: はい 誰と、または何と いいえ 不明

At the bottom right of the window, there are two buttons: "戻る" (Back) and "次へ" (Next).

q) その他の状況 B. 製品の欠陥・問題による死亡の場合

このページには、製品の欠陥または問題によって起こった死亡の詳細情報を記入する。死亡

に
関
与
し
た
製
品
情
報
は
適
切
に
収
集
さ
れ
る
こ
と
が
少
な
く
、
予
防
の
妨
げ
と
な
っ
て
き
た
。
製
品
名
と
、
死
亡
時
の
状
況
を
詳
細
に
記
入
す
る
こ
と
が
重
要
で
あ
る
。

ChildDeathReview

File

その他の状況B

B. 製品の欠陥・問題による死亡の場合

(1) 製品名(できるだけ詳細に):

(2) 製品は正しく使用されたか: いいえ はい 不明

(3) 当該製品はリコール対象であったか: いいえ はい 不明

(4) 製品に適切な安全ラベルは貼られていたか: いいえ はい 不明

(5) 国民生活センター・消費者庁等に届け出たか: いいえ はい 不明

(6) 届け出た場合、届け出たのは誰か:

戻る 次へ

r) その他の状況 C. 意図的な行為による死亡の場合

「本件の調査・死亡証明に関する情報」のページで「殺人」「自殺」のいずれかを選ぶと、上記の詳細情報を記入した後に、このページの記

入に至る。ここでは、意図的な行為による死亡の詳細を記入する。虐待による頭部外傷または脳損傷がみられた場合には、「揺さぶられっ子症候群」の疑いがあるかどうかも記す。

Child Death Review

File

その他の状況C

C. 意図的な行為による死亡の場合

(1) 次の行為から、死亡の原因または一因であったものをすべて選択:

監督不足・監督不在 子どもへの身体的虐待 子どもへの心理的虐待 子どもへの性的虐待

子どもへのネグレクト 自殺 心中 医療事故または医療過誤

その他: _____ 不明

(2) 身体的虐待の種類:

意図による頭部外傷 虐待被害者児童候群 叩く/蹴る 火傷または熱傷

飲酒または薬物の乱用 その他: _____ 不明

(3) 意図による頭部外傷の場合、外傷の種類: _____

(4) 意図による頭部外傷の場合、子どもは揺さぶられたか: はい いいえ 不明

(5) 身体的虐待がきっかけとなった事故:

なし 子どもが滑った 家内での言い争い 授乳の問題

その他: _____ 不明

(6) 子どもを揺さぶった場合:

子どもを揺さぶらなかつた (長期的に) _____

必要最低限を提供しなかつた (食事、住む場所、その他) _____

必要最低限を求めなかつた、守らなかつた

心理的なネグレクト

(7) 上記の意図的行為は: 慢性的であった 慢性的ではなく突発的な事象だった 不明

戻る 次へ

s) 死亡の責任者

このページでは、子どもの死亡に責任がある者の情報を記入する。この者がすでに記入され

た「監督者」であった場合には、記入は省略できる。

The screenshot shows a window titled "ChildDeathReview" with a "File" menu. The main content area is titled "死亡の責任者" (Responsible Party for Death). It contains several sections for data entry:

- (1) 死亡の原因である者: (1) Cause of death:
 - 死亡した子ども自身 実親 継親 祖父母 兄弟姉妹 子どもの友人
 - 見ず知らずの他人 医療提供者 施設職員 その他 不明
- (2) 人物の年齢・性別: (2) Person's age and gender:
 - 原因となった人物: [text box] 歳 男 女
- (3) この人物は、冒頭の項目で挙げられた、子どもの監督者か: (3) Is this person the supervisor of the child mentioned in the header items?
 - いはい はい
 - あなたが入力した「子どもの監督者」
 - いない
- (4) この人物は、非行歴・犯罪歴があったかどうか: (4) Has this person had a record of delinquency or criminal history?
 - 原因となった人物 いはい はい 不明
- (5) この事象による法的結果: (5) Legal result of this incident:
 - 原因となった人物 不起訴 起訴 [text box] 不明

At the bottom right, there are two buttons: "戻る" (Back) and "次へ" (Next).

D. 考察

これまで、死亡に関するデータとしては、死亡診断書の記載項目が使用されてきたが、その情報だけでは死因がはっきりわからないということがわかった(2)。そこで今回、小児の死亡例のすべてについて記入することができるソフトウェアを開発した。

病死も含めた死亡例について、保存されている病歴の記載をもとにソフトウェアへの入力作業を行った。約10例について入力作業を行ったが、死亡時の状況は個別性が強く、今回作成したソフトウェアでは入力しづらい、また入力できない部分があることもわかった。

今後、数百例規模の病歴から入力作業を行い、ソフトウェアの改訂を行う予定である。

医療現場で使用できる目安が立てば、このソフトウェアを無料で配布し、継続的な入力作業を依頼する予定である。依頼先としては、小児の入院病床を持っている医療機関のすべてを網羅することが望ましいが、第一段階としては日本小児科学会の研修指定病院に依頼するのが現実的であろう。

情報収集の定点を設定すると共に、集まったデータを分析し、健康問題の解決策を検討する機関も必要である。検討された結果は、情報収集機関にフィードバックされると同時に、厚労省をはじめとする行政にも提供し、子どもの健康問題を考える場合の基礎資料として使用されることが望ましい。

E. 結論

1-4歳の幼児死亡のなかで、外因による死亡について検討したところ、死亡診断書だけで

は情報内容が不十分で死亡原因を推定することはむずかしいことがわかった。そこで、米国のChild death reviewを参照し、小児の死亡例について包括的に入力することができるソフトウェアを開発した。このソフトウェアを使用してパイロット・スタディを行い、情報収集の定点を設置して、詳細な死亡状況を継続的に収集するシステムを稼働させる必要がある。

文献

- 1) 山中龍宏、掛札逸美：Child Death Reviewに関する検討。平成19年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「乳幼児死亡と妊産婦死亡の分析と提言に関する研究」平成19年度総括・分担研究報告書、pp293-316、平成20年3月
- 2) 山中龍宏、掛札逸美：傷害による死亡情報の収集内容についての検討。平成20年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「乳幼児死亡と妊産婦死亡の分析と提言に関する研究」平成20年度総括・分担研究報告書、pp408-460、平成21年3月

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 山中龍宏：事故による子どもの傷害予防に取り組む—医療機関で予防につながる情報を収集する—。国民生活研究 49:49-76, 2009
- 2) 西田佳史、山中龍宏、宮崎祐介、本村陽一：事故・傷害情報を対策法へと加工する工学的アプローチ。小児保健研究 68:191-198, 2009
- 3) 山中龍宏：学童保育下の傷害とその予防。チャイルドヘルス 12:719-724, 2009
- 4) 山中龍宏：乳幼児健診と傷害予防の指導、

- 健診における危機管理。小児科臨床 62 : 2585-2593, 2009
- 5) 山中龍宏：事故による子どもの傷害予防への科学的アプローチ。日本小児科学会教育委員会編「ここまで来た注目の小児科臨床ガイド 小児科専門医のための生涯教育ナビゲータ」中山書店、東京、2009年4月、pp26-30
 - 6) 渡辺 博、山中龍宏、藤村正哲：幼児死亡の分析と提言に関する研究(3) 死亡原因の解析。厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「乳幼児死亡と妊産婦死亡の分析と提言に関する研究」平成20年度総括・分担研究報告書 pp379-394, 2009
 - 7) 山中龍宏：現場検証による傷害発生状況の把握に関する研究。平成20年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「健やか親子21を推進するための母子保健情報の利活用および思春期やせ症防止のための学校保健との連携によるシステム構築に関する研究」平成20年度 総括・分担研究報告書 pp132-137, 2009
 - 8) 西田佳史, 本村陽一, 北村光司, 山中龍宏, “子どもの事故予防のための日常生活インフォマティクス,” バイオメカニズム学会誌「子供安全とバイオメカニズム特集号」, Vol. 33, No. 1, pp. 16-22, February 2009
 - 9) 北村光司, 掛札逸美, 西田佳史, 本村陽一, 山中龍宏, “子どもの傷害予防教育・啓発に活かす VR 技術,” 日本バーチャルリアリティ学会誌, Vol. 14 No1, pp. 11-20, 2009
 - 10) 西田佳史, 本村陽一, 北村光司, 山中龍宏, “傷害予防への工学的アプローチ,” Injury prevention (傷害予防) への科学的アプローチ-発生数・重症度を減らすには-, 日本小児科学会雑誌, Vol. 113, No. 2, pp. 190, 2009

